

双六岳・笠ヶ岳 テント泊縦走報告

(山城) 北アルプス南部

(コース) 新穂高温泉－(小池新道)－双六岳－笠ヶ岳－(笠新道)－新穂高温泉

(日時) 8月26日(金)～8月28日(日)

(参加者) 佐藤 CL、次男(小5)



双六小屋テン場での夕焼け

我が家では恒例の夏休みアルプス山行だが、長男は学校があるとかで今年は欠席となった。年々あまり乗り気じゃなくなっているが年頃なので仕方がない。代わって昨年燕岳でデビューした次男が同伴である。

8月26日(土) 朝方雨～曇り～晴れ

(山行タイム) 新穂高温泉 07:20－10:40 秩父沢出合－鏡平山荘－弓折乗越－16:50 双六小屋(テン泊)

飛騨の道の駅に前泊するつもりが、あまりに眠いので境川PAで仮眠した。1人で運転するのはつらいが気ままで済むのがよい。2時頃起きて新穂高に向けて再出発、新島々のコンビニで買い物を済ませた後、安房トンネルを抜けて飛騨に入り、4時50分頃、あと少しで新穂高だなと思っていたところで全面通行止めに出くわす。慌ててスマホで調べると、落石による夜間通行止めで5時開通とのこと、しばらく

待つと無事通過できた。深山荘前の無料駐車場に停め、雨が止むまでしばらく寝て待つことにする。

7 時頃、予報どおり雨がほぼ止んだので装備を整えて出発する。どんどん天気が回復して青空が広がるのはいいが蒸し暑い。途中、わさび平小屋で一休みし、小池新道に入り秩父沢、シシウドヶ原を過ぎて急坂を登り木道が出始めると鏡平山荘は近い。この間、急坂を登るときは、**鏡平山荘に着くと美味しいかき氷があるよー**と励ます。鏡池の広場からは逆さ槍穂を写す定番ショットが撮れるが、本日は風が少しあり残念。鏡平山荘ではお約束、ふわっふわのかき氷を注文する。生ビールを飲めないのがうらめしい。弓折乗越へは急坂が続き、かき氷パワーは 30 分くらいで尽きたようだ。今度は、**双六小屋に着くと冷たくて美味しい水が飲めるよー**とか適当なことを言って励ます。やっとの思いで弓折乗越に着き、いくつか小ピークを越えると赤い屋根の双六小屋が見える。が、ここからがとっても遠い。へろへろになりながらなんとか 17 時前に到着する。コースタイム 7 時間のところ、休憩込で 9 時間半、よく頑張ったと思う。テン場は意外と少なく 30 張くらい。綺麗な夕日を眺めながらビールとジュースで乾杯し、夕飯を食べて早々に就寝した。



鏡平から槍穂 風が少しあったのが残念



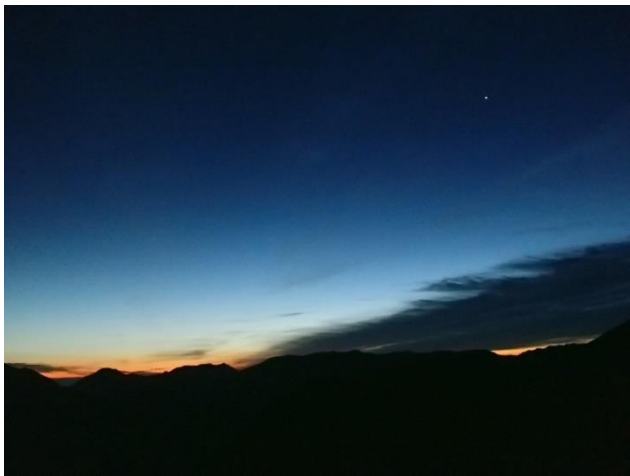
弓折乗越から進むと双六小屋、だけど遠い！

8 月 27 日(日) 晴れ

(山行タイム) テン場 04:40ー05:30 双六岳ーテン場 (テント撤収) 08:00ー弓折乗越ー秩父平ー16:30
笠ヶ岳山荘 (テン泊)

朝 4 時くらいに起きると星が見え、天気は快晴無風、登山日より。湯を沸かして紅茶を飲んだあと、予定どおり双六岳へ向けて出発した。登る途中で御来光を迎え、山頂は多くの人でにぎわっていた。南に本日進む笠ヶ岳が遠くに見える。360 度のパノラマを見渡し堪能したのち、テントに戻って朝食を済ます。いろいろやっているうちにテントを撤収して出発できたのは 8 時、遅くなった。まずは弓折乗越まで引き返し、快適な縦走路を進んで笠ヶ岳を目指す。秩父平 (昨日通った秩父沢の源流突き上げたところ) はこの時期水場があり、いざとなったら快適なビバーク地として使えそう。この日は快晴で非常に暑かったが、笠ヶ岳がよく見える笠新道出合あたりにくると、急にガスがでて笠ヶ岳を覆ってしまう。コースタイムをだいぶ過ぎ、今日もへろへろになって 16 時半くらいにテン場になんとか到着。空いてい

るか心配していたが、日曜ということもあって余裕があってよかった。いったん小屋へ受付に行ったが、テン場から遠くゴーロの登りで嫌になる。遅い時間だったが、小屋食が食べられるというので予約する。また後で登って来なくてはいけないのだけれど。美味しい小屋食を食べてテントに戻り早々に寝た。



翌朝、快晴 金星



双六岳に登る途中で御来光



あっちが本日進む笠ヶ岳、遠い！



双六岳山頂で記念撮影



支度を整えて出発



カールと槍穂、2日目は暑かった



抜戸岩、小屋まであと 30 分



笠ヶ岳テン場に到着、小屋まで遠くて愕然

8 月 28 日(月) 曇り

(山行タイム) テン場 05:20ー05:50 笠ヶ岳ーテン場 07:30ー(笠新道)ー杓子平ー笠新道登山口ー15:00
新穂高温泉

最終日は曇天無風。5 時すぎに笠ヶ岳山頂へピストン。さすが百名山、独立峰的だし見晴らしは抜群だった。テントに戻り撤収して、笠新道登山口までの標高 1400m の長い下山を開始する。下山後に気づいたのだけれど、小屋外で汲んだ水が非常に消毒薬臭い。湯沸ししたときはカルキが飛んで気づかなかったのだろう。貴重な天水を無料でいただけるのは非常にありがたいけれど、飲んだあとに口中に広がるすごいニオイ、トイレ臭。ゴクゴクと飲んだあと、ハートと息を吐けばニオイが薄れることを次男と発見し、なんとかしのぐ。笠新道の下りは本当にキツイ。最初は 200m ほど下って休憩、次第に 100m で休憩、しまいには 50m 下って休憩、という頃になってようやく林道に出た。さらに新穂高までも長くて大変だった。帰りは定番のひらゆの森で露天風呂にゆっくり浸かり、頑張ったご褒美に飛騨牛のステーキをごちそうした。帰りはのんびりと SA で仮眠しながら家に着いたのは朝 5 時すぎ。大人でも大変なコースをよく頑張ったと思う。2 泊の山行も初めてだ。来年もつきあってくれるかな ^^ ；



我が家



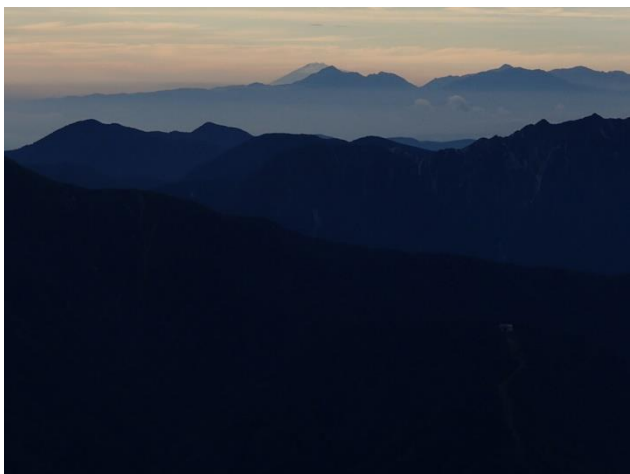
テント村と槍穂



北穂、涸沢、奥穂の3兄弟シルエット



笠ヶ岳山頂 2898m



富士山もちょこっと顔を出す



延々と笠新道を下る

おわり